

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和3年3月定例会

議席番号9番  
高桑 佳子議員

1 生活を守り、地域の力を高めるための方策を

出雲崎町の人口ビジョンに対する数値は、様々な施策と努力で、上方に推移している。しかし、人口減少と少子高齢化による集落の課題は多方面で膨らんできており、様々な活動が縮小している。将来への不安や危機感を持ちながら、住民同士の具体的な話し合いはなかなか進まないように感じる。団塊の世代といわれる方々が80歳になる前に、計画的に各集落の機能を継続させるため、強い施策を取るべきと考え、次の質問について考えを伺う。

- (1) 各集落の生活扶助機能が希薄になっていくことをくい止めるために、行政ではどのような方策を考えているか。また、その進捗について伺う。
- (2) 日常生活のみならず、今まで集落で行ってきた共同作業や助け合い活動においても維持が難しいケースがある。デリケートな部分ではあるが、できることから複数の集落が合同で出来ることを推奨する考えはないか。
- (3) 「地域おこし協力隊」と同様の制度に、「集落支援員」がある。これは、集落について知っている方を支援員として配置し、地域の困りごと等の解消と活性化を目指すものだが、新潟県内でも多くの自治体を取り入れて成果を上げている。当町でも導入すべきと考えるがどうか。